

ミニミニニュース 新聞

発行所 藤枝
中学校区
学校運営協
議会議務局

第3回学校運営協議会開催

2月21日(火)、藤枝小学校パソコン室を会場に、第3回学校運営協議会が開催されました。当日は授業参観の後、全体会議を行いました。今号では、協議内容の中から主なものをご報告します。



また、来年度への課題として小中一貫教育を意識した総合的な学習の時間「ふるさと学習」の具体化について進捗状況の報告がありました。

各小中学校からの経営報告

各学年末に行った学校評価をもとに、各校長が振り返りました。

藤枝中学校からは、「学校生活への満足度93%」「仲間との関わりを大切にしている割合95%」など高評価であり、保護者アンケートからも、学校生活の充実と安定がみられるという報告がありました。また、今年度タブレット端末を利用した相談システム(藤中相談フォーム)を立ち上げ、有効に機能しているとのことでした。

藤枝小学校からは、「学校が楽しく授業がわかる」という回答が90%を超えるなど、教育目標の「自立・夢・

思いやり」の理念が浸透している様子が伺える報告がありました。

藤枝中央小学校からは、「学校が楽しい96%」「授業がよくわかる88%」に達しており、特に、挨拶の様子については、よくできているという保護者や地域の声が多いという報告がありました。「三方よし」を実現する児童の姿が具現化していると思われま。

稲葉小学校からは、ふるさと学習、福祉活動、あいさつ、掃除、縦割り活動の充実が報告され、稲葉小学校の地域的強みを生かしていることが伺えました。また、3学期制から2学期制への移行も検討されているという報告がありました。

委員からの声(主な質疑)

Q・中一ギャップ軽減のため、藤枝中学校アンケートを生かせないか?
A・現小6にフィードバックしたい。また、中学校の教師が小学校へ出向き、説明や授業を行っている。
Q・藤中生の交通マナーについて。

A・生徒の「交通ルールを守っている」というアンケート結果が大変高い数値であるが、実際、地域で見られる実態と大きな差がみられる。意識は高いが具体的な行動ができておらず、生命安全に関わることなので指導を強化していく。

Q・9年間を見通した授業を実践している教師の割合が低い。

A・保有免許の壁はあるが、小中両方を経験する人事配置も、県の方針として定めており、本学区も対応している。小中一貫教育も推進しており、一層の人事交流を要請していく。

Q・地域の活動に子どもが参加することは大変大切である。来年度は藤枝大祭りの開催があり、初日の金曜日は休みにして、より多くの参加を促して欲しい。

A・4校共通で初日の10月6日(金)は「郷土の日」として休業日を予定している。自治会や関係機関の支援をお願いしたい。

次年度の活動と展望について

目指す子ども像や「ににこあいさつ運動」の一層の定着など、今年度までの基本方針は継続していきたい。放課後学習支援や部活動の地域移行などの今日的課題にも取り組むたい。また、来年度は藤枝大祭りがあり、児童生徒の積極的な参加を促していきたい。

年間事業報告

毎月25日を基本に実施している「ににこあいさつ運動」が定着してきたことや、藤枝中学校のピオトープの改修、学年行事への協力などの報告があり、コミュニティ・スクールが2年目に入った充実ぶりが確認されました。

藤枝大祭連合会会長

秋田 弘武

私は、大学時代を除き地元の上伝馬でずっと暮らしています。その理由の一つは藤枝大祭りです。日本一と云われる長唄地踊りや勇壮な屋台廻しのある素晴らしい祭りです。若い頃はハレの日の非日常を騒いで楽しむだけでしたが、普段は話したことがない近所の大人たちに知られ、一緒に祭りを成し遂げることで町の一員として認められ

ふるさとの先達!

ます。私のように祭りがある故に住み続ける人や祭りで出会い結婚した人も大勢います。祭りは、人のつながりや地域を創る“装置”ともいえます。そこに江戸時代から続けられていく所以があるかもしれません。去年はコロナで延期した藤枝大祭りを今年こそ開催したいと思っています。皆さんも是非参加してみませんか。ヤーレコノセー! ヤレヤレヤレヨー!!!